

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆高市首相「補正予算案の編成視野」 電気・ガス補助策検討、与党に要請

・高市首相は2026年度補正予算案の編成を視野に入れて財政上の措置の検討に入ったと明かす。月内にも編成の是非を判断。首相官邸で同日開いた政府・与党連絡会議で、与党に夏の電気・ガス料金の補助策を検討するよう要請。「経済活動や国民の暮らしに支障が生じないよう適切に判断し、必要に応じてタイムリーに対応する」と強調。

◆政府、6月原油代替調達7割確保 追加の備蓄放出は見送り

・経済産業省は6月の原油代替調達について7割以上の目途が立ったことから、第3弾の国家備蓄放出を見送ると発表。これまでの備蓄放出決定分と合わせて6月に必要な原油は確保できる見通し。民間石油会社に義務付けている石油備蓄量については現在、70日分から55日分へと15日分引き下げているが、この水準を維持する。

◆非上場株取引、個人に門戸 中小企業役員らの参入へ金融庁が要件緩和

・金融庁は夏にも非上場株を取引できる個人投資家の要件を緩和する。流通・発行市場への参加資格を軽くし、中小企業の役員などに間口を広げる。2027年春には証券会社による勧誘行為もより幅広く認める。日本の家計が抱える巨額の資金がスタートアップに流れる仕組みを作る。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆省エネ給湯器普及へメーカー・住宅関連24団体連携 35年に導入2倍に

・リンナイやノーリツなどが加盟する日本ガス石油機器工業会が近く省エネルギー給湯器の普及へ業界横断型の新プロジェクトを立ち上げる。給湯器メーカーのほか住宅の管理会社など24の業界団体が連携し省エネ機器の需要を掘り起こす。不動産オーナーの業界団体などと連携し給湯器に占める省エネ機器の出荷割合を2035年倍増を目指す。

◆鋼板流通価格が2年ぶり上昇 熱延品3%高、メーカー値上げの転嫁進む

・鋼板の国内流通価格が2年ぶりに上昇した。熱延の指標品種は前月比で3%高い。原燃料高を背景にした鉄鋼メーカーの今春の値上げが流通段階にも一部浸透した。中東情勢の混迷による一段のコスト増加懸念も強まっており、流通各社はさらなる価格転嫁を急ぐ。

◆LIXILがトイレ13%値上げ、住宅サッシやドアも 中東情勢受け

・トイレなどの住宅設備や窓サッシなどの建材について平均8～15%の値上げを実施すると発表。トイレと浴室製品は8月3日受注分から平均13%ほど値上げ。中東情勢によるエネルギーや原材料の高騰を反映。値上げするのは住宅向け設備からビル向け建材など11品目。住宅サッシやドアなどの建材は10月受注分から平均13%値上げ。

《 注目商品 》

■永大産業、厚1.8ミリのリフォーム用上貼りフロア

・既存床の上からそのまま施工できるリフォーム用の薄型上貼りフロア「カバーリエ」を6月29日に発売。厚さ1.8mmと薄いため、床暖房や遮音性能など既存床の機能を維持したまま見た目を一新できる上貼り床材。サッシ枠との段差がでにくい。



■アイリスオーヤマ、水洗いできる「気化式加湿器 enemist」

・当社の加湿器として初めて、工具を使わずに本体からファンやファンカバーを取り外し、水洗いできる「気化式加湿器 enemist(エネミスト)」を発売。ヒーターを使用しない気化式採用で吹き出し口が熱くならず、小さな子供がいる家庭でも安全に使用できる。



■YKK AP、スクエア形状のポスト・宅配ボックス一体型機能ポール

・シンプルなファサードを提案する新しいエクステリアシリーズ「オルフェス (allFACE)」。スクエアフォルムと洗練されたディテールの郵便ポスト・宅配ボックス一体型機能ポール「オルフェス ポストユニット」を6月1日発売。水平・垂直ラインのシンプルな外観に調和するエクステリアシリーズ。

